事務事業評価シート　平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

所管課	生涯学習課	担当班	社会教育班

事務事業名	コード	39740	青少年健全育成活動費	予算科目	会計	款	項	目
		③	(ジュニアリーダー)(子ども会)		一般	10	4	1

施策体系					
基本施策	14	青少年の健全育成	根拠法令	旭市青少年問題協議会条例等	
施策の展開	28	青少年の健全育成の推進	戦略事業	141	子ども会活動の促進
施策の展開			戦略事業		

事業種別
- ☑ 主な事業
- ☐ 国土強靭化地域計画
- ☑ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏構想
- ☐ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☑ 単年度繰返 ☐ 平成 ＿ 年度～ ☑ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 ＿ 年度～ 平成 ＿ 年度まで	子ども会:地域の大人が指導者となり、主体となる子ども会事業等について支援し、様々な体験活動を実施。活動に際しては、ジュニアリーダースクラブ(中学生から大学生までのグループ)がボランティアで支援を行なう。市は子ども会育成連絡協議会への補助金交付と活動の支援を行う。親子地曳網体験、交歓会、書初め展(出展数)のほか、平成28年度からは子どもパークゴルフ大会を実施している。

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
家庭と地域・学校等各団体間の協力体制並びに組織体制づくりによる密接な連携のもと、体験学習や実践活動を通じて地域との関わりや世代間交流を促進し、社会性や豊かな人間性を持つ青少年を地域全体で育成していく。	青少年を取り巻く社会環境は、親子のふれあい不足、地域での人間関係の希薄化や地域活動への関心の薄れ、子どもたちの異年齢間での遊びの減少などが指摘されている。一方、従来の万引、喫煙、深夜はいかいなどに加え、パソコンや携帯電話によるインターネットの利用から発生する問題は、ますます多様化、低年齢化の傾向にある。	学校、家庭、地域社会、関係機関が一体となった青少年の健全育成活動の取り組みの充実が求められている。

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算)	単位:千円	
1.負担金及び交付金	2,687	補助金

② 特定財源の内訳(29年度の決算)	単位:千円
1.国庫支出金	0
2.都道府県支出金	0
3.地方債	0
4.その他	0

前年度増減理由	バス借上料助成事業に係る補助の減

			単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
事業費	費目内訳	1. 負担金及び交付金	千円	3,386	2,862	2,868	2,687	2,931
			千円					
			千円					
			千円					
			千円					
	事業費計 (A)		千円	3,386	2,862	2,868	2,687	2,931
	財源	1. 国庫支出金	千円					
		2. 都道府県支出金	千円					
		3. 地方債	千円					
		4. その他	千円					
		5. 一般財源	千円	3,386	2,862	2,868	2,687	2,931

従事職員数	常時	1 人	最大	6 人	×	30 日	=	延べ	180 人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段 ① 主な活動	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
29年度実績(29年度に行った主な活動) ①子どもパークゴルフ大会/②親子地曳網体験/③ジュニア・リーダー初級講座宿泊講習会/④デイキャンプ/⑤交歓会/⑥書き初め展	ア ≪ジュニア・リーダー≫ジュニア・リーダー初級講座受講生(準会員)	人	16	26	41	51	51
	イ ≪子ども会≫単位子ども会の会員数	人	2,202	2,103	1,949	1,520	2,000

目的 ② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
対象 ≪ジュニア・リーダー≫ジュニア・リーダー初級資格を有した市内在住の中学生及び高校生 意図 ≪ジュニア・リーダー≫子ども会活動の援助及びジュニア・リーダーの育成、地域社会への奉仕等を図る。	ア ≪ジュニア・リーダー≫ジュニア・リーダースクラブ会員数	人	11	13	21	22	20
対象 ≪子ども会≫市内在住の子ども及び育成者 意図 ≪子ども会≫地域の大人が指導者となり、子ども会事業や地域事業等について支援し、様々な体験活動を実施する。	イ ≪子ども会≫市子連主催の主な事業への参加人数	人	828	794	992	1,010	950

(4)事務事業優先度評価の結果

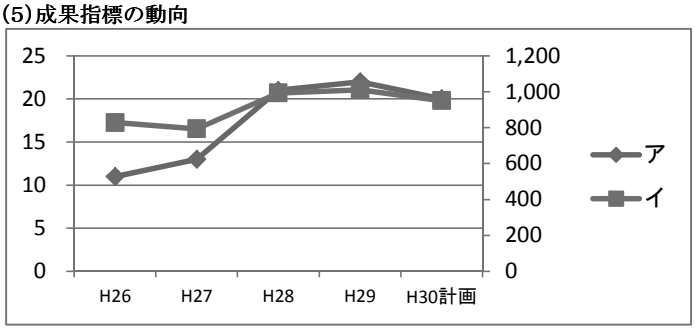
①成果優先度評価結果

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい		②	
	普通			
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度評価結果	①			
	②③			(9)
	④⑤⑥			
	⑦⑧⑨			

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容		
① 進捗状況	☐ 完了　☑ 順調　☐ 概ね順調　☐ 停滞　☐ 実施困難	
【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)		
② 成果の状況	成果指標ア　成果指標のタイプ ↗ 数値増＝成果向上　☑ 向上　☐ 横ばい　☐ 低下	
	成果指標イ ↗ 数値増＝成果向上　☑ 向上　☐ 横ばい　☐ 低下	
【コメント】(低下の場合、その理由)		

成果動向 比較	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28年度	28年度 29年度	29年度 30計画
ア	△8	2	8	1	△2
イ	△103	△34	198	18	△60

③ 今年度取組事項(30年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容
	平成31年2月まで	子どもパークゴルフ大会、親子地曳網体験、デイキャンプ、かるた交歓会、書き初め展、ジュニア・リーダー初級講座、ジュニアリーダスクラブ活動、バス借上料助成事業を実施する。

今後の方向性
- ☐ 拡大
- ☑ 現状維持
- ☐ 見直し
- ☐ 縮小
- ☐ 廃止・休止
- ☐ その他(　　)

子ども達が豊かな人間性や社会性を兼ね備えて成長できるよう、様々な体験活動を実施する。